



1_兵頭町長による大声の開会宣言／2_寒さに負けじと叫ぶ／3_可愛らしい一言に会場は笑顔に包まれた／4_小さな体で精一杯叫ぶ／5_鬼に仮装してご夫婦で参加／6_司会を務めたやのひろみさん(写真左)と、審査員を務めたものまねタレントのみかんさん。鬼嫁こと、タレントの北斗晶さんに扮して登場(写真右)／7_海外から参加したご家族も／8_参加者の叫びに思わず審査員も笑顔／9_夫の力強い愛の叫び



「第3回愛ある鬼嫁コンテスト」は2月11日、道の駅日吉夢産地で開催されました。鬼北町が推進している「鬼のまちづくり」の一環として毎年行われている当イベント。今回は、「鬼嫁部門」「鬼嫁の子ども部門」「鬼嫁の夫部門」の3部門に分かれ、「家族愛」をテーマにした一大声量を競い合いました。兵頭誠亀鬼北町長による、大声での開会宣言で幕を開けた当コンテスト。鬼嫁部門には13人、鬼嫁の夫部門には7人、そして、鬼嫁の子ども部門には10人が参加しました。愛する家族とのエピソードが紹介されると、思い思いに叫ぶ参加者たち。来場者の笑いを誘う一言を叫ぶ参加者もいれば、普段面と向かつてはなかなか言えない感謝の気持ちや、愛する思いを叫ぶ参加者もいて、会場内は温かい空気になりました。